

ティーチング・ポートフォリオ

山村学園短期大学保育学科 / 子ども学科

教授 新井 英人

1. 教育の責任

(1) 2020年度の担当科目は、以下の通りである。

科目名	開講年度	学期	対象学年	種別	受講者数	備考
保育内容健康	2020	前期	1年生	演習	36名	2クラス
"	"	"	"	"	37名	"
保育教育課程論	2020	前期	2年生	講義	68名	1クラス
基礎演習	2020	通年	1年生	演習	73名	4クラス 教員4名
キャリアアップセミナー	2020	通年	1年生	演習	73名	4クラス 教員4名
アウトドア演習A	2020	前期	1年生	演習	22名	1クラス 教員2名
"	"	"	2年生	演習	23名	1クラス 教員2名
教育方法技術論	2020	後期	1年生	講義	73名	1クラス 教員2名
健康と人間関係の指導法	2020	後期	1年生	演習	73名	2クラス 教員2名
教育行政学	2020	後期	2年生	講義	68名	1クラス 教員2名

(2) 学科長として

・学科会の運営

毎週行われる学科会の議案について、適切な運営がなされるように議題等について連絡調整を図っている。

・管理職の補佐

管理職を補佐し、短期大学の円滑な運営と課題解決に向けて取り組む。

・新型コロナウイルス感染症対応

管理職の指導の下、新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアルの作成や日頃の感染防止に向けた取り組みを進めている。具体的には、緊急事態宣言発令中の本学の取り組み（登校日の設定等）や対面授業再開に当たっての日課の変更、対面授業再開後の消毒等を関係委員会と調整を図り推進。

2. 教育の理念

義務教育及び教育行政に38年、短大での教育に5年携わってきた。その間、義務教育では主に小学校教育、教育行政では健康教育、また3年間を在外教育施設（ローマ日本人学校）に携わり、その経験を短大での教育に生かすようにしている。

短大での教育を実践する上で常に心掛けていることは、「自らが研究と修養に努めること」、「自らの経験を学生に伝えること」を実践することである。保育者は、乳幼児やその保護者という人と人が関わる非常に大切な仕事である。そこで保育者として、単に専門知識や専門技術を学ぶだけでなく、保育者として人と人の関わりを大切に、相手の気持ちを尊重し、受け入れる心をもった学生になって欲しいと考えている。加えて、教育者として、常に学ぶことを意識して欲しいと考えている。

特に今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、遠隔授業の実施、学校行事の延期や中止等、今までに経験のない対応についてせまられている。従前と同様の教育内容が実施できるように努力すると共に、感染防止にも力を入れていきたい。

3. 教育の方法

(1) 保育内容健康

保育士及び幼稚園教諭養成課程で必修科目である。本科目は、保育の内容である五領域の一つを担い、領域「健康」について、乳幼児を取り巻く社会的状況や教育的課題を踏まえた上で、指導に必要な基礎的知識や基礎的技能について身に付ける。

【ねらい】領域「健康」の指導の基盤となる、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うための専門的事項について、知識や技能を身に付けることができる。

【到達目標】・乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。・乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。・安全な生活とケガや病気の予防を理解する。・乳幼児期の運動発達の特徴や意義を理解する。

(2) 保育教育課程論

保育士及び幼稚園教諭養成課程で必修科目である。本科目では、保育所及び幼稚園におけるカリキュラムを考え、保育士養成課程の保育課程論と幼稚園教諭養成課程の教育課程論について学習する。

【ねらい】保育所及び幼稚園におけるカリキュラムを理解し、実際のカリキュラムに沿って指導計画が作成できる力を養う。

【到達目標】ねらいを達成するために各カリキュラムについて理解し、カリキュラムから指導計画の作成ができるようにする。

(3) 基礎演習

保育者の資質を高める科目である。体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度、学びの方法、挨拶、マナー、コミュニ

ケーション能力、社会人・職業人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について実践的な活動を通して学ぶ。

【ねらい】行事の企画・運営を通して園行事を円滑に行うための実践的な能力を習得し、宿泊研修や体験学習を通じて保育者として必要な資質を向上し、社会人としての自覚や職業観を習得する。

【到達目標】・幼稚園、保育園などで実施される行事の企画・運営に必要な実践的な保育能力を身に付ける。・宿泊研修や体験学習等を通して社会人として必要な職業観・使命感等を身に付ける。

(4) キャリアアップセミナー

保育者の資質を高める科目である。前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、幼稚園や保育所、小学校の教員としての実務経験をもとに、保育現場での具体的・実践的な数テーマを取り上げ、それぞれのスキル（専門技術）アップを目指す。後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合う。

【ねらい】様々なキャリアアップテーマや興味・関心を同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図る。

【到達目標】保育者に必要とされる知識・技術を定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができる。

(5) アウトドア演習A

保育者の資質をたかめる科目である。本科目では、自然を直接体験するプログラムや各種のゲームを体験しながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。

【ねらい】保育所・幼稚園で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、人や自然を深く愛し慈しむことのできる骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培う。

【到達目標】ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。

(6) 教育原理

保育士及び幼稚園教諭養成課程で必修科目である。本科目では、教育の目的や歴史を踏まえながら、人間形成において最も重要な乳幼児期の保育について携わる保育士・幼稚園教諭に必要な、学校教育に関わる理念、教育制度、学習指導要領、教育課程等の基礎的な知識を学習する。

【ねらい】教育の目的や意義・方法等について学習し、保育士及び幼稚園教諭として必

要な基本的な知識や考え方を習得する。

【到達目標】・教育の意義、目的について理解する。・学校教育の歴史を制度について理解する。・教育の制度について理解知る。・教育の現状と課題について理解する。

(7) 健康の指導法

保育士及び幼稚園教諭養成課程で必修科目である。五領域で共通的に修得すべき資質能力を学び、「健康」における保育内容の指導法を学ぶ。就学前教育の基本、育みたい資質能力、就学前教育における見方・考え方を含め、ねらいと内容と就学前教育における評価を具体的な保育展開に結び付ける専門的実践すべき力を身に付ける。指導案作成や模擬保育及びその振り返りを含め、主体的・対話的で深い学びから「健康」における保育内容の指導法を習得する。

【ねらい】領域「健康」における指導法の実際を学び、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価を専門的に構想する力を身に付ける。

【到達目標】・幼児教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解し、それぞれ概説できる。・乳幼児の発達や学びの過程を理解し、「健康」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけようとする。

(8) 教育行政学

幼稚園教諭養成課程で必修科目である。わが国の公教育制度の原理や制度を支える教育法規の体系を理解すると共に、学校経営とその評価やこれからの学校と地域社会との連携の在り方、学校管理下における事故の実情を踏まえた危機管理や学校安全の取り組みなどについて、課題作成や協議を通して理解する。

【ねらい】公教育制度の意義やその法的・制度的仕組み、近年の教育政策の動向、地域との連携を図った学校経営の在り方、学校安全の目的と具体的な取り組みに関する基礎的な知識を習得する。

【到達目標】・わが国公教育制度の原理と近年の教育政策の動向を理解できる。・学校経営の仕組みと学校評価の在り方を理解できる。・学校と地域社会との連携や協働の意義と実際について理解できる。・学校安全の必要性と具体的な取り組みを理解できる。

4・教育の成果、評価

2019年度前期・後期定期試験前に学生に対して授業アンケートを実施した。

問1 ・欠席又は遅刻・早退をせずに受けましたか。

・私語を慎んで授業を受けましたか。

・授業の要点をノートにとっていましたか。

・シラバスは授業内容や評価の基準等を知るうえで役に立ちましたか。

・予習・復習及び技術向上のための努力をして授業に臨んでいましたか。

問2 ・授業内容は、シラバスに示されていた学習目標と合致していましたか。

・授業内容のレベルは適切でしたか。

- ・授業の進度（速さ）は適切でしたか。
 - ・この授業を通じて知識が深まった、能力が高まったと感じますか。
- 問 3
- ・教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
 - ・授業の説明の仕方は分かりやすいものでしたか。
 - ・授業中の板書や機器の利用は適切でしたか。
 - ・教材や資料はよく準備され、うまく活用されていましたか。
 - ・教員は学生の質問に適切に対応し回答していましたか。
 - ・学生の理解を深めよう、能力を高めようとする工夫や努力が感じられましたか。

問 4 ・全体的に見て、この授業に対するあなたの評価はどの程度ですか。

問 5 ・授業の感想を自由に述べてください。

(1) 保育内容健康 (5.0 満点)

問 1 (1・2 組) 平均 4.1 5 (3・4 組) 平均 3.9 9

問 2 (1・2 組) 平均 4.5 3 (3・4 組) 平均 4.4 7

問 3 (1・2 組) 平均 4.7 0 (3・4 組) 平均 4.7 8

問 4 (1・2 組) 平均 4.3 4 (3・4 組) 平均 4.5 4

問 5 ・演習があり、自分の考えを書く機会があり良かった。

- ・授業毎にプリントが配られるので、分かりやすかった。
- ・質問にしっかりと答えてくれた。
- ・授業の進みが丁度よく、教科書と併用していたのでとても分かりやすかった。
- ・演習課題が盛り込まれていて、考えながら学ぶことができるのでとても良いと思います。
- ・レポートに対して、とても丁寧に答えてくださり助かりました。

(2) 保育教育課程論 (5.0 満点)

(1・2 組) 平均

問 1 (1・2 組) 平均 3.9 4 (3・4 組) 平均 4.3 0

問 2 (1・2 組) 平均 3.9 3 (3・4 組) 平均 4.3 7

問 3 (1・2 組) 平均 4.0 7 (3・4 組) 平均 4.4 6

問 4 (1・2 組) 平均 4.1 1 (3・4 組) 平均 4.4 1

問 5 ・分かりやすく理解しやすい授業でした。

- ・もう少し書く量を少なく。

(3) 総合演習 (5.0 満点)(2019 年度は 2 年担任のため総合演習について記載)

問 1 平均 3.7 3

問 2 平均 3.8 1

問 3 平均 3.8 5

問 4 平均 3.8 2

問 5 ・山緑祭等の行事準備に充てる時間がとても貴重だった。

- ・今年は今週の部屋や内容が予め分かるようにレジメが配付されていたので、とても分かりやすかった

(4) スキルアップセミナー (5.0 満点) (2019 年度は 2 年担任のためスキルアップセミナー について記載)

問 1 平均 3.7 4

問 2 平均 3.7 5

問 3 平均 3.8 1

問 4 平均 3.8 2

問 5 ・山緑祭の準備などの時間は貴重だった。時間数をもう少し確保できると良いと思った。

(5) アウトドア演習 A (1 年)・子ども文化演習 B (2 年) (5.0 満点) (2019 年度は、科目名が 1 年と 2 年で異なったため昨年度の科目名で記載)

問 1 (1 年) 平均 4.3 4 (2 年) 平均 4.0 4

問 2 (1 年) 平均 4.5 3 (2 年) 平均 4.4 0

問 3 (1 年) 平均 4.7 5 (2 年) 平均 4.4 0

問 4 (1 年) 平均 4.5 5 (2 年) 平均 4.4 0

問 5 ・外に出て自然について色々教えてください、とても楽しかったです。

- ・体験しながら学べるので、いつも楽しかったです。
- ・子どもと遊べる自然を使った遊びを色々学べて良かった。
- ・色々な動植物の名前を知ることができて良かったです。
- ・実習に役立つ内容、ナチュラル保育を活かした内容で、恵まれた授業だと思います。
- ・1 年生と 2 年生が交流できるのも良いと思います。

(6) 教育原理 (5.0 満点)

問 1 平均 4.0 4

問 2 平均 4.0 6

問 3 平均 4.2 1

問 4 平均 4.1 2

問 5 ・丁寧に確認しながら進めてくれた。

- ・記述する量が多いが、一つずつ確認しながら進めてくれた。
- ・スライドを次に進める時に確認してくれるので良かった。

(7) 健康と人間関係の指導法 (5.0 満点)

問 1 平均 4.3 5

問 2 平均 4.5 1

問 3 平均 4.8 0

問 4 平均 4.5 9

問5・「はとやま子育てフェスティバル」「防災学習センター」に関する記載が多く、学習内容に満足する言葉となっていた。

- ・実際に体験をしたり、子どものいる場で実践をしたりできたことは学びに繋がりが良かった。

5．教育の改善に向けた今後の目標

短期的目標	<ul style="list-style-type: none">・「遊んで学ぶ」の実践に向け、講義だけでなく作業や話し合い等の自ら学ぶ時間を設定し、主体的な授業を心掛ける。・きめ細かな授業を心掛け、毎回プリントの提出を求め、次回までに評価し返却する。また欠席者には、次週に欠席した時間のプリントを渡し速やかに提出するように促す。・学生への声掛けを心掛け、信頼関係の構築を図る。
長期的目標	<ul style="list-style-type: none">・本学の教育目標「現代社会に対応し、人間に対する深い理解と愛情を備えた心豊かな人材を育成し、もって広く社会の発展に寄与することを目的とする。」の実現を目指し、いつの時代も社会に貢献できる人材の育成という基本理念の基に研究を進める。・「遊んで学ぶ」についての授業の確立、自然を生かした保育についての研究を進める。・EduNaviを活用した双方向の授業を目指す。・フィンランドの教育や保育について学びを深め、子育て・幼児教育についての造詣を深める。また、それを自らの授業実践に生かす。

6．ナチュラル保育検定への取り組み

本学では、緑豊かな自然を生かし、保育者としての資質向上に役立て、輝きのあるまなざしで物事に接することができる保育者を育成することをねらいとして本検定を実施している。検定を通して、知識や技術だけではなく、物事に興味を持つこと、「知りたい」という好奇心を持ち、命の大切さや生きる力を育むことができればと考えている。

そこで、「ナチュラル保育検定」のテキストを作成し、学生に配布し、アウトドア演習Aの授業で活用を図っている。

昨年度、WEB版の「ナチュラル保育検定」のテキストを作成し、目次や地図から植物等が検索できるようにした。今年度については、さらに改良を加えより使いやすい「ナチュラル保育検定」テキストにした。

7．エビデンス一覧

- (1) 各科目シラバス
- (2) 授業時配布プリント

- (3) 試験問題
- (4) 成績集計結果
- (5) 授業アンケート結果
- (6) ナチュラル保育検定
- (7) 進路ガイダンス ・ 年間計画
- (8) 基礎演習・キャリアアップセミナー 年間計画